

事務事業名		芸術文化活動支援事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間	
	施策名	1 4 生涯学習の推進			
	基本事業名	0 3 学習活動の促進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不詳 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 13 01 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	協働まちづくり部生涯学習課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業内訳 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	
	課長名	熊谷善男			
	係名	芸術文化係	電話		
	担当者	木村 亮	内線	277	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市民の芸術文化活動を支援する事業であり、大船渡市民芸術祭実行委員会に補助金を交付するもの。

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位 ア 市民芸術祭事業数 事業 イ ウ	
前年度実績(前年度に行った主な活動)			
市民芸術祭			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
市民芸術祭			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民芸術祭実行委員会		名称 単位 カ 市民芸術祭実行委員数 人 キ ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に事業を運営してもらう。		名称 単位 サ 市補助金額 千円 シ 市民芸術祭参観者数 人 ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
芸術文化活動を行う。			

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	1,134	1,082	1,081	1,234	1,186	1,200
			事業費計 (A)	千 円	1,134	1,082	1,081	1,234	1,186	1,200
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時 間	504	648	600	600	600	600
			人件費計 (B)	千 円	2,016	2,592	2,400	2,400	2,400	2,400
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	3,150	3,674	3,481	3,634	3,586	3,600
⑤活動指標			ア	事業	35	34	31	33	34	34
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	70	66	32	33	33	33
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	千円	1,134	1,082	1,081	1,234	1,186	1,200
			シ	人	7,619	6503	5,824	6,409	6,253	6,500
			ス							

事務事業ID	0856	事務事業名	芸術文化活動支援事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
活動成果を発表・展示する機会を提供し、市民の芸術文化創造活動を奨励・支援するため。昭和30年度開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
大船渡市芸術文化振興事業推進委員会及び市民創作活動等助成事業は、平成2年に大船渡市ふるさと創生事業の一環として実施する芸術文化振興事業をより積極的に推進するために設置された委員会であり、創作活動に対する助成であるが、設立から25年が経過し、すでにふるさと創生事業が終了していることから、同委員会及び助成事業は平成27年度末をもって廃止した。平成29年度より大船渡市芸術文化協会の事務局を移管し、社会教育指導員が不要となったため現在は正職員のための対応となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
出演者・出品者数、参観者数が減少し、特に若者世代の参加が少ない。若者の出品、参観を増やす方法を検討すべきとの意見がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	芸術文化活動を支援することは、豊かな心を育む人づくりの推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	芸術文化の全市民的な均衡ある発展のために、市が活動成果を発表・展示する機会を提供し、創作活動を奨励・支援する必要があることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 適切である ⇒【理由】	市芸術文化協会加盟団体を中心とする活動の発表・展示となっているが、さらに参加団体、個人を拡大する余地がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何故原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	・市民が興味を持つようなPRに努め、出演者数、出品数、参観者数を増やす余地がある。 ・複数部門によるジョイント開催の取り組みにより、参加団体の経費の縮減や効果的な事業運営の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	活動成果を発表・展示する全市規模での機会であることから、事業を廃止した場合は、芸術文化の振興に影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	事業費は部門への開催費用の一部補助であり、削減余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	大船渡市芸術文化協会の事務局を移管したため、社会教育指導員の配置を廃止し、総合美術展開催時等以外は、1名の職員で関係団体との連絡調整等を行っており、これ以上の削減余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	市民芸術祭の発表・展示に係る費用にあてられているため、各部門では入場料や参加料を徴収しており、公正・公平である。市では、費用の一部を補助している。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	園児・児童作品展などが大幅に出品者、作品数を伸ばしたものの、他の部門では、出品者、出演者の高齢化が問題となる部門が増加している。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 市民が興味を持つようなPR等に努める。市芸術文化協会加盟団体に限らず、非加盟サークル等新たな参加団体の人材の掘り起こしのためにも開催方法の工夫は今後も必要と考えられる。 開催日が重なる事業があるため、調整を求められているが、イベントの多い時期であり、会場の確保が困難であることから、難しい状況である。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	市芸術文化協会に加盟していない団体・グループ、個人への支援が十分なされていないと言いつつ、難しい状況であり、市長部局が所管する芸術文化振興施策との統合が必要である。